

注文カード

(送付先 FAX048-432-7335)

部数： 部

氏名：

住所：〒

電話：

FAX：

A5版124頁

定価：本体1600円+税

メッセージ：

# 日中相互理解とメディアの役割

日中コミュニケーション研究会編 日本僑報社 2002年7月発行

## 目次

- 高井潔司/はじめに
- 孫歌/国境を越えた知の状況に対する考察
- 矢吹晋/日中誤解は「迷惑」に始まる——国交正常化30周年前夜の小考
- 高井潔司/東アジアの政治摩擦とメディアの構造
- 崔保国、李希光/メディアにおける日本イメージ——1990-2000中国新聞の日本報道についての分析
- 村田忠禧/愛国主義と国際主義について——『人民日報』社説を素材にした分析
- 張放/中日メディアの経済摩擦報道についての雑感
- 西忠雄/日本商品のトラブル報道に関する考察
- 黄昇民/放送（ラジオ・テレビ）メディアの統合と分裂——双方向システムのプレッシャー、対応と展望
- 古畑康雄/共同網の現況
- 田畑光永、米田正人、盧徳平/日中両国学生の相手国に対する意識調査

编者紹介：日中コミュニケーション研究会（略称、「JCC」）

日本と中国の理解を一層深め、コミュニケーションがより円滑に行えるよう、日中両国民一人ひとりの立場で問題点を探り、話し合いを進めることを目的として活動しています（設立は一九九八年、現在二百名ほどの会員がいます）。

メーリングリストを利用した話し合いのほか、年数回は講演会、研究会、シンポジウムなどのイベントを行っています。二〇〇〇年、二〇〇一年には、国際交流基金の補助金を受けて、北京梅地亜中心（メディアセンター）で国際シンポジウムを行いました。今後もこの種の行事を継続していきたいと考えています。

日中の交流に対して関心があり、メールアドレスをお持ちの方なら、どなたでも当研究会に参加できます。研究者だけの集まりではありませんが、いわゆる学際的な話し合いを、インターネットを利用して推進することが本研究会の特徴です。研究会の運営は以下の世話人が中心となっており行っています。

研究会代表・高井潔司（北海道大学） 世話人・米田正人（国立国語研究所）、劉志明（中国社会科学院）、渡辺浩平（北海道大学）、矢吹晋（横浜市立大学）、馬場公彦（岩波書店）、水野義道（京都工芸繊維大学）、古畑康雄（共同通信社）、西忠雄（元・日本国際貿易促進協会）、王少鋒（大阪電気通信大学）、中尾比早子（名古屋大学大学院）、福田智子（チャイニーズドラゴン）

詳しくは、HP (<http://www.niccs.co.jp/jcc/>) をご覧ください。